ALASTAIR CAMPBELL

- **Former Head of Communications for Tony Blair**

LONDON
SPEAKER
BUREAU

Topics

- Communications
- Media
- Politics

Alastair Campbellは、1994年から2003年までTony Blairの公式スポークスマンでした。

彼は元トニーブレア首相のスポークスマン、広報長官、そしてコミュニケーションと戦略のディレクターとしての彼の役割で最もよく知られている作家、コミュニケーターそしてストラテジストです。今でも労働政治で活動している彼は、作文、スピーチ、慈善募金、政治そして選挙運動の間で自分の時間を分割しています。彼は労働党のために3つの成功した選挙運動を行った。

Alastairは、Mandelson卿などの他の主要人物とともに□New Laborの創設と党の政権復帰を支援する重要な役割を果たしました。 1997年の選挙の後、彼は首相の首相官房長官と公式スポークスマンになりました。そして、それは政府通信の調整と報道の1日2回のブリーフィングを伴いました。彼はLabourの最初の任期のためにこの仕事をしました、しかし、ブレア氏が2回目の地すべり選挙勝利を勝ち取った後、彼はコミュニケーションと戦略のディレクターになりました。彼は2003年に辞任するまでこれを行った。

彼は2005年の総選挙の前の6ヶ月間労働党に戻り、非公式に党に助言し続けています。彼は、募金イベントでのLabout Partyの最も需要の高い講演者の一人であり、英国が直面している本当の選択を理解する必要性に党活動家と国民を集中させることを目的としたGoFourthキャンペーンの創設者でした。

2007年に、彼はトニーブレアとの彼の最初の本を出版しました、「ブレア年」は1994年から2003年までの彼の日記から抜粋したもので、それはインスタントサンデータイムズナンバー1ベストセラーでした。彼は2008年に彼の最初の小説 "All In The Mind"を発表し、2009年に発表された彼の2番目の小説 "Maya"は名声と執着の分析です。 2008年に彼は1986年に彼自身の内訳についてBBC2で1時間のドキュメンタリーを放送しました。2013年9月に、Alastairは彼の最新小説、 "私の名前は..."、アルコール依存症への10代の少女の子孫の物語を発表しました。

彼は、2010年の選挙運動で、ゴードン・ブラウンのもとで、労働力を維持するための連合を結成する非公式顧問として労働党に戻った。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988